

## 早通小学校

### 進め！早小環境調査隊

～環境保護の視点から地域を見つめる～

#### NPO法人ボランティア亀田「ドジョウプロジェクト」

ドジョウ以外に、スズエビ、タナゴ、モツゴなんかもいるね。

昔は、170トンものドジョウがとれたんだよ。

私たちの住む亀田郷は、阿賀野川と信濃川に挟まれ、昔は、芦沼と呼ばれるほど芦の生い茂る沼地でした。そんな土地を、多くの人たちの努力で現在の素晴らしい郷土にしてきた歴史があります。私たちは、その歴史を受け継ぎ、郷土を守り、もっと良い郷土にするためには何が大切かを考えていきます。

昔の人たちは、環境を生かしてドジョウを養殖してたんだね。

#### 「ピオトープ」で環境作りを実践

私たちのピオトープもいろんな生物が住める環境にしたいね。

CODの値がよくないね。落ち葉を取って、もっと水質をよくしないとイケないね。

カキ殻、炭、バイオメッシュを使って、水をきれいにして。

#### 自然の宝庫「福島潟」での環境調査

福島潟には様々な生き物が住んでいるんだね。

ピオトープと同じようにCODの値がよくないよ。水が汚れてきているのかな。

河川などの水の環境を守っていくことが、私たちが生きていく上でとても大切な事です。

3年生の時、私たちが住んでいる場所が、芦が生い茂る沼地だったことを知りました。でも、昔の人たちは、その環境を生かして産業に結びつけたりしていました。昔の人たちから受け継いだ自然環境を大切に、もっと良い環境を作っていきます。

僕らもしっかりと水の環境を守っていかなくては。

#### 環境と人間のふれあい館での環境学習

#### 環境と人間のふれあい館での発表

### 米博士になろう

～農業の視点から地域を見つめる～

#### 早出川（阿賀野川の支流）調査

飲めそうなくらい、水がきれいだよ。

洪水が起きるほど、水は多くないね。

洪水も起きないし、昔と変わったのはなぜかな。

流れもそんなに早くないよ。なにが理由があるのかな。

#### 学校田での稲付け・田植え

昔は、泥沼で大変だったみたいだけど、どうして今はこんなに楽になったんだろう。

このダムには、発電以外に、放流量を調節して洪水が起らないようにする役目と農業のためのかんがい用水の役目があるんだよ。

#### 学校田での稲刈り

もう「鳥またぎ米」なんて言わせないよ。

#### 収穫感謝祭（関係者を招いて発表）

それで、洪水も起きないし、沼地もなくなったんだね。

#### 早出川ダムで治水・利水学ぶ

多くの人が、治水・利水に力を入れてきたことで、土地が改善され、立派な稲が育つ土地になりました。

### ● 子どもの声 ●



川の様子を観察しに行って、カーブの外側がけずられやすく、ぼくたちの亀田郷が洪水になりやすい地形だったことが分かりました。鳥屋野沼付近にたまってしまいう水が、米づくりに悪さをしてしまうので、上流のダムや排水機場のはたらきが大切だと思いました。



亀田郷にはドジョウがたくさんいることがわかりました。ドジョウ池には、ドジョウの他にもいろいろな生き物がいました。中には、ドジョウやドジョウの卵を食べてしまう生き物もいて、びっくりしました。でも、それが自然なんだと思いました。



わたしたちの住む亀田郷でとれるお米は、昔はまずく、鳥さえ見向きもしない「鳥またぎ米」と言われるほどだったそうです。それなのに、現在はおいしいお米がとれるのでしよう。それは、昔の人が苦労して、水とのたたかきで勝ったからだと分かりました。



福島潟の広さは、ディズニーランド5つ分と聞いて、すごいと思いました。そして、魚、鳥、昆虫などを合わせると900種類以上もの生き物がいると聞いて、またびっくりしました。早通小学校のピオトープも、福島潟と同じくらい生き物がいればピオトープにしたいです。